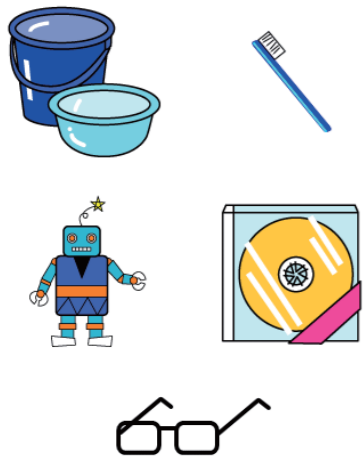


# ごみ区分の変更

「粗ごみ」としているごみの一部を「燃やすごみ」に変更します。

次の品目は、4月1日以降に「燃やすごみ」として出すことができます。

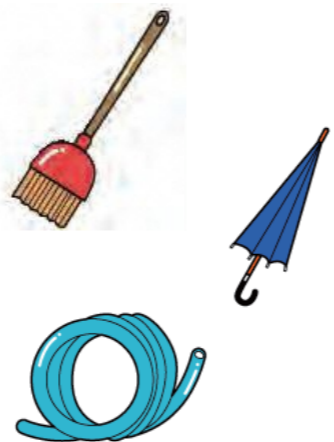
バケツ、洗面器、歯ブラシ、おもちゃ、CD・DVD(ケース含む)、メガネなどの小型のプラスチック製品



ボールペン・シャープペンシル、ホッチキスなどの文具類



その他ゴムホース(ホースリールは粗ごみ)、ほうき(1m未満のもの)、傘(一度の排出は3本まで)など



詳しい分別の方法は、「家庭ごみ編ごみの排出手引き」をご覧ください。

## 利用者の主なメリット

### ごみ出し回数が増加

月8回(週2回)の燃やすごみの日に出すことができるようになり、より出しやすくなります。

注 一度の排出は、45リットル以下のごみ袋2袋までです。

### 区分変更したごみは無料回収

これまで1袋300円だったものが、「燃やすごみ」として無料で出すことができます。

注 「粗ごみ」はこれまでどおり1袋または1品で300円です。

「燃やすごみ」として排出できるのは4月1日からだよ。注意してね。



問 クリーンセンター業務課 TEL 06-6991-3840

区分	予算額	執行額	執行率	
収入	給水収益	25億8,569万円	17億1,789万円	66.4%
	その他	8億5,213万円	1億3,461万円	16.0%
	計	34億3,782万円	18億5,250万円	53.9%
支出	水道水の製造に要する費用	7億1,338万円	3億 92万円	42.2%
	供給に要する費用	6億4,665万円	4億 702万円	62.9%
	一般管理費など	17億4,434万円	9億 489万円	51.9%
	建設に要する費用	7億8,041万円	3億2,363万円	41.5%
	企業債償還金	8億 973万円	4億 912万円	50.5%
計	46億9,451万円	23億4,558万円	50.0%	

項目	金額	項目	金額
営業費用	13億3,942万円	営業収益	16億3,323万円
水道水の製造に要する費用	2億8,203万円	うち給水収益	15億8,936万円
供給に要する費用	3億8,446万円		
一般管理費など	6億7,293万円		
営業外費用	9,559万円	営業外収益	7,514万円
うち支払利息	9,559万円	うち加入金	6,759万円
特別損失	1億2,522万円		
当年度純利益	1億4,814万円		
合計	17億 837万円	合計	17億 837万円

項目	金額	項目	金額
固定資産	190億2,694万円	固定負債	104億5,895万円
土地	2億7,063万円	うち企業債	102億6,980万円
構築物など	187億5,631万円	(令和2年度以降に償還するもの)	
流動資産	22億5,500万円	流動負債	7億6,896万円
うち現金預金	18億3,520万円	うち企業債	3億9,855万円
		(令和元年度に償還するもの)	
		繰延収益	8億1,426万円
		資本金	67億2,105万円
		剰余金	23億7,058万円
		当年度純利益	1億4,814万円
合計	212億8,194万円	合計	212億8,194万円

## 水道事業会計 予算の執行状況

令和元年12月31日現在、収入は予算額34億3千782万円に対して、執行額は18億5千250万円(執行率53.9%)、支出は予算額46億9千451万円に対して、執行額は23億4千558万円(執行率50.0%)となっています。

本年度の水道事業は、安全な水道水を将来にわたって安定的に供給するために、「良質な水道水の供給」と「地震などの災害に強い水道システムの確立」を事業運営の基本方針として定め、各種の事業を実施しています。

主な内容は、市内に布設している配水管の耐震化事業、老朽化した浄水施設の更新事業、および良質な水道水を供給するための鉛給水管解消事業などです。

また、財政面では、事業収入の根幹である水道料金収入が毎年減少する中、事務改善などによる経営の効率化により、人件費や企業債利息の抑制など徹底した経費の節減に取り組んでいます。

令和元年12月31日現在では、1億4千814万円の純利益を計上していますが、旧取水施設撤去などの工事費や企業債利息の支払いなどにより減少する見込みであり、令和元年度末には約1億7千328万円の純損失となる見込みです。

問 水道局総務課 TEL 06-6991-6774

## 下水道事業会計 予算の執行状況

下水道事業は、良好な公衆衛生の保全および浸水被害の軽減を行う重要なインフラとして持続可能な経営のために、事業を実施しています。

主な内容は、<sup>かんきよ</sup>管渠の耐震化、災害時の避難場所となる学校へのマンホールトイレの設置および老朽化した設備の更新工事などです。

令和元年12月31日現在、収入は予算額66億7千677万円に対して、執行額は32億3千360万円(執行率は48.4%)、支出は予算額72億7千990万円に対して、執行額は34億4千500万円(執行率は47.3%)となっています。

経営状況は、収益が30億5千649万円に対し費用が24億3千233万円であったため、6億2千416万円の純利益を計上しました。

問 下水道管理課 TEL 06-6992-1747

区分	予算額	執行額	執行率	
収入	下水道使用料	23億5,000万円	17億6,110万円	74.9%
	その他	43億2,677万円	14億7,250万円	34.0%
	計	66億7,677万円	32億3,360万円	48.4%
支出	維持管理費	14億3,259万円	9億 369万円	63.1%
	一般管理費など	23億8,672万円	16億 180万円	67.1%
	建設に要する費用	24億2,859万円	3億9,774万円	16.4%
	企業債償還金	10億3,200万円	5億4,177万円	52.5%
	計	72億7,990万円	34億4,500万円	47.3%

項目	金額	項目	金額
営業費用	23億2,149万円	営業収益	24億6,917万円
維持管理費	8億3,923万円	うち下水道使用料	16億2,588万円
一般管理費など	14億8,226万円		
営業外費用	1億1,084万円	営業外収益	5億8,732万円
うち支払利息	1億1,084万円		
当年度純利益	6億2,416万円		
合計	30億5,649万円	合計	30億5,649万円

項目	金額	項目	金額
固定資産	371億2,801万円	固定負債	130億8,545万円
土地	27億4,135万円	うち企業債	130億4,908万円
構築物など	343億8,666万円	(令和2年度以降に償還するもの)	
流動資産	32億3,287万円	流動負債	8億 818万円
うち現金預金	26億9,292万円	うち企業債	4億8,941万円
		(令和元年度に償還するもの)	
		繰延収益	137億7,047万円
		資本金	91億6,525万円
		剰余金	29億 737万円
		当年度純利益	6億2,416万円
合計	403億6,088万円	合計	403億6,088万円